

**製品名:** リン酸化 NMDAR2A/2B (Tyr1246/Tyr1252) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab00906

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	-

## 抗原情報

遺伝子名	GRIN2A/GRIN2B
別名	GRIN2A; NMDAR2A; Glutamate [NMDA] receptor subunit epsilon-1; N-methyl D-aspartate receptor subtype 2A; NMDAR2A; NR2A; hNR2A; GRIN2B; NMDAR2B; Glutamate [NMDA] receptor subunit epsilon-2; N-methyl D-aspartate receptor subtype 2B; NMDAR2B; N
遺伝子 ID	2903/2904
SwissProt ID	Q12879/Q13224
免疫原	抗血清は、ヒト NMDAR2A/B 由来の Tyr1246/1252 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1216-1265

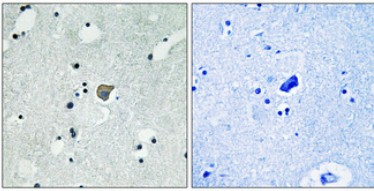
## 背景

グルタミン酸依存性イオンチャネルの NMDA 受容体サブタイプは、高いカルシウム透過性とマグネシウムに対する電圧依存的な感受性を有する。活性化には、両タイプのサブユニットへのアゴニストの結合が必要である。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



リン酸化 NMDAR2A/2B (Tyr1246/Tyr1252) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高压高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。右側はブロッキングペプチドを含むサンプルです。